

様式第1(4)

特別地域（特別保護地区）内鉱物の掘採  
（土石の採取）許可申請書

自然公園法第20条（第21条）第3項の規定により 公園の特別地域（特別保護地区）内における鉱物の掘採（土石の採取）の許可を受けたく、次のとおり申請します。

年 月 日

申請者の氏名(押印又は署名)及び住所  
〔法人にあっては、名称、住所及び  
代表者の氏名(押印又は署名)〕

殿

目	的	
場	所	
行為地及びその 付近の状況		
鉱物(土石)の種類		
施 行 方 法	掘採(採取)方法	
	掘採(採取)量	
	掘採(採取)設備	
	土地の形状を変更 する面積	
	掘採(採取)後の 土地の形状	
	関連行為の概要	
	掘採(採取)跡地 の取扱	
予 定 日	着 手	年 月 日
	完 了	年 月 日
備	考	

(備考)

1 添付図面

- (1) 行為の場所を明らかにした縮尺1:25,000以上の地形図
- (2) 行為地及びその付近の状況を明らかにした縮尺1:5,000以上の概況図及び天然色写真
- (3) 行為の施行方法を明らかにした縮尺1:1,000以上の平面図、断面図
- (4) 行為終了後における植栽その他修景の方法を明らかにした縮尺1:1,000以上の修景図
- (5) その他、行為の施行方法の表示に必要な図面

2 注意

- (1) 申請文の「  
公園」の箇所には当該国立(国定)公園の名称を記入すること。  
なお、不要の文字は抹消すること。
- (2) あて名は、国立公園内における場合は「環境大臣」と、国定公園内における場合は「長野県知事」と記入すること。
- (3) 「場所」欄には、都道府県、市郡、町村、大字、小字、地番(地先)等を記入すること。
- (4) 「行為地及びその付近の状況」欄には、地形、植生等周辺の状況を示す上で必要な事項を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (5) 「掘採(採取)方法」欄には、露天掘、坑道掘(横坑、たて坑、斜坑)等の別を記入すること。
- (6) 「掘採(採取)量」欄には、容積(立方メートル)及び重量(トン)により掘採(採取)量を記入すること。
- (7) 「掘採(採取)後の土地の形状」欄には、切羽跡階段状等掘採(採取)後の土地の形状について、具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (8) 「関連行為の概要」欄には、支障木の伐採、支障となる動植物の除去、ズリ処理等、申請行為に伴う行為の内容を具体的に記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (9) 「掘採(採取)跡地の取扱」欄には、跡地の整理、緑化の方法等、風致景観の保護のために行う措置及び跡地の用途を記入すること。なお、必要に応じてその詳細を添付図面に表示すること。
- (10) 「備考」欄には次の事項を記入すること。
  - ア 他の法令の規定により、当該行為が行政庁の許可、認可その他の処分又は届出を必要とするものであるときは、その手続きの進捗状況
  - イ 当該行為が鉱業法第63条に規定する施業案を必要とするものであるときは、当該施業案の概要
  - ウ 土地所有関係及び申請者が土地所有者と異なる場合は、土地所有者の諾否又はその見込み
  - エ 過去に自然公園法の許可を受けたものにあつては、その旨並びに許可処分の日付、番号及び付された条件
- (11) 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
- (12) 各欄は記入内容の多寡に応じて適宜拡大・縮小することができる。